

### 第3章 “サロン”の可能性を探る福祉教育・ボランティア学習

#### 引用・参考文献

赤旗出版部子どもの貧困取材班（2010）誰かボクに、食べものちょうだい，新日本出版社

阿部彩（2014）子どもの貧困Ⅱ解決策を考える，岩波書店

阿比留久美（2022）子どものための居場所論 豊かなることが豊かさになる，かもがわ出版

新崎国広（2011）学校教育における福祉教育・ボランティア学習実践研究の課題と展望，日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要，vol. 18，p. 6-19

新崎国広（2015）サロンの可能性を探る福祉教育・ボランティア学習，日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要，vol. 25，p. 8-9

石川克巳（2015）「地域サロン活動」をテーマにした都立葛飾総合高校での福祉教育・ボランティア学習実践-学校と地域を“つなぐ”福祉教育実践に学ぶ，日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要，vol. 25，p. 31-38

市川享子（2015）東日本大震災の被災地における紐帯の再構築と市民性に関する学び-吉里吉里語のアーカイブ活動のサロンの機能に着眼して，日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要，vol. 25，p. 39-41

居場所カフェ立ち上げプロジェクト（2019）校内居場所カフェをつくろう，明石書店，p. 1-9

岩澤一美（2019）不登校の児童生徒を持つ保護者向けの「オンライン交流会」から見てきた効果，教育実践年報，3，p. 48-75

尾崎新（2009）生のリアリティと福祉教育，誠信書房，序文 i

子どもの権利条約総合研究所（2013）子どもの居場所ハンドブック，日本評論社

櫻井裕子（2022）不登校の子ども対象のオンライン居場所支援の特徴と課題の検討，奈良女子大学社会学論集，第29号，p. 23

軸丸政代（2015）生活困窮家庭の中学生への学習支援-学びあいサポート事業，日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要，vol. 25，p. 42-47

渋谷英章（1990）生涯学習事典，日本生涯学習教育学会編，東京書籍，p. 43-45

ジョアン・C・トロント／岡野八代（2020）ケアするのは誰か？新しい民主主

義のカタチへ、白澤社

全国子ども食堂支援センター・むすびえ (2020) むすびえの子ども食堂白書  
地域インフラとしての定着をめざして、本の種出版

田中治彦・荻原健次郎編著 (2012) 若者の居場所と参加 ユースワークが築く  
新たな社会、東洋館出版

玉利勇二 (2015) 山田中学校における教育コミュニティづくり-コミュニティ  
スクールを導入した地域に生きる学校づくり、日本福祉教育・ボランティア学  
習学会研究紀要, vol. 25, p. 20-30

徳丸ゆき子 (2020) 子ども食堂と子どもの権利、子どもの権利研究, vol. 31,  
子どもの権利条約総合研究所, p. 128-135

仲野浩司郎 (2015) “夕刻を支える場”はびきのチルドレンズサポートネットワ  
ークの活動について、日本福祉教育・ボランティア学会研究紀要, vol. 25, p.  
48-55

中村久美 (2019) 地域コミュニティとしての「ふれあい・いきいきサロン」の  
持続性と包括性に関する研究、日本家政学会誌, vol. 70, No. 7, p. 403-415

南里民恵 (2015) 地域住民・行政・福祉施設・専門職の協働による居場所づく  
り“ふれあいネット雅び”-居場所づくり(共生型サロン)からコミュニティソー  
シャルワークへの展開、日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要, vol.  
25, p. 56-62

西川正 (2023) 遊びの生まれる時、ころから出版

西野博之 (2006) 居場所のちから 生きてるだけですごいんだ、教育資料出版  
会

西野博之・山下英三郎著 (2018) 居場所とスクールソーシャルワーク、子ども  
の風出版

福田清志 (2015) NPO 法人阿羅漢(あらはん) 山城ファミリーサポートセンタ  
ーにおける福祉教育ボランティア学習実践、日本福祉教育・ボランティア学習  
学会研究紀要, vol. 25, p. 63-68

南出吉祥 (2015) 居場所づくり 実践の多様な展開とその特質、社会文化研究,  
第 17 号, p. 67

宮武正明 (2014) 子どもの貧困 貧困の連鎖と学習支援、みらい  
ミルトン・メイヤロフ/田村真他訳 (1987) ケアの本質、ゆみる書房

村上徹也 (2015) “サロン”実践におけるリフレクシオンの意義と今後の課題、日  
本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要, vol. 25, p. 78

村上靖彦 (2021) すき間の子ども、すき間の支援 一人ひとりの「語り」と経験の可視化, 明石書店

柳下換編著 (2011) 居場所作りの原動力 子ども・若者と生きる、つくる、考える, 松籟社

湯浅誠 (2021) つながり続けるこども食堂, 中央公論新社

吉田祐一郎 (2016) 子ども食堂活動の意味と構成要素の検討に向けた一考察—地域における子どもを主体とした居場所づくりに向けて—, 四天王寺大学紀要, vol. 62, p. 355-368

レイ・オルデンバーグ／忠平美幸訳 (2013) サードプレイス, みすず書房